

2023, リハビリテーション・ケア合同研究大会 in 広島

Enjoy your Life! ~参加を育む、だから攻めようリハビリテーション~

本研究大会は、基調講演2題、特別講演3題、教育講演11題、シンポジウム16題、共催セミナー11題、口述発表約400題、デジタルポスター発表が約200題で構成されていました。4年ぶりの現地開催で、9会場の大半で、立ち見の参加者がいるほど、非常に盛り上がった大会でした。



広島国際会議場

リハビリテーション・ケア合同研究大会
広島2023

開催地企画シンポジウム

『ロービジョンケア・視覚リハビリテーションってご存知ですか?』

では、視覚障がい当事者からの話がありました。

(当事者)・・・小学生から眼科検査で毎回視力不良を指摘され毎年眼科を受診していたが、視覚よりも心因性を疑われ、自分でも見え難いことがどういうことか理解できず、少し他人と違う自分を自覚しつつも周囲の助けを得ながら生活をしてきた。その後も、視力低下が進み“視覚障害”の診断を受けたものの、支援を受けることはなかった。大学受験の前に“視覚特別支援学校”の教育相談で、視覚補助具や大学入試の配慮について指導を受けながら高校を卒業した。もっと早く支援が受けられていたら…。

“視覚障害”と診断を受けてから、支援を受けるまでかなりの年数が経過している。見えづらさから生活に支障が出る前に、然るべき機関につなげてもらっていたらもう少し楽に生活ができていたのではないかと考えると、当センターが窓口になっているロービジョン外来の重要性を再認識する機会となりました。



特別講演

『令和6年度診療報酬・介護報酬同時改定を踏まえた今後のリハビリテーション』

では、専門研修や当センターが関連する業務に関わる講演も聞いてきました。

自分が考えていた以上に病院と地域(≒医療と福祉)には多くの壁があることを実感しましたが同時に、その壁を少しでも解消しようと努力している方々(特に医師)の話は、当センター業務を行う上で非常に勇気づけられる内容でした。

今回この研修会に参加し、地域におけるリハビリテーションケアをより充実させたいと思う方々の貴重なお話を聞き、非常に刺激を受けました。

今後、当センターでも、どのような取り組みをしていくべきかチームで話し合い、地域生活を支える支援者の方の一助になれるよう努力したいと思います。(有馬 一伸)



リハビリテーション専門研修

10,17 褥瘡予防セミナー

褥瘡についての基礎的な知識(褥瘡の好発部位やその要因)や予防(ケアの方法やポジショニング)について、座学・実技を通して学びました。



受講生の声

ひとりひとりの利用者の姿勢について日頃からよく観察し、少しでも安楽な姿勢で過ごしてもらえるよう努めていきたいです。

講師 神奈川リハビリテーション病院

看護師 矢後 佳子 リハエンジニア 辻村 和見
理学療法士 本田 博基、平松 優香 作業療法士 井上 彰太

10,21 脳卒中の方の就労支援

疾患や障がいを抱えながらも就労や復職を希望する方に対して、治療と仕事の両立支援制度や両支援コーディネーターの役割について学びました。



受講生の声

就労世代の高齢化が進むため、両立支援については支援者としても労働者としても理解を深める必要があると認識しました。

講師

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 神経内科医師 萩原 悠太氏、東横病院 SW 佐藤 千秋氏
神奈川県産業保健総合支援センター 労働衛生専門職 新名 早苗氏
神奈川リハビリテーション病院 職業指導員 小林 國明、作業療法士 露木 拓将、増子 寿和

11,14 知的障がいのある方への生活支援

グループホームを中心に“少しでも長く地域生活を続けるために”支援者としてどのような関りが必要かを学びました。



受講生の声

担当1人で解決するのではなく、コーディネートするという視点でまずは受け止めること、やり方を参考にしたい。
施設で補えない部分を多々感じています。職員不足など関係機関とのチーム支援に共感しました。

講師

神奈川県総合リハビリテーション事業団 七沢学園 副園長 能條 尚樹
(社福)唐池学園貴志園 地域生活支援課 中嶋 丈志氏、神奈リハ病院 理学療法士 小泉 千秋

11,25 在宅における循環機能の低下について

在宅で生活する循環器リスクのある方に対し、生活場面で行える運動指導の方法の工夫、リスク管理の考え方についてグループワークや講義を通して学びました。



受講生の声

実技で実際に自身で動くことで、キツさ・体力がわかりました。利用者様の運動の負荷量調整のイメージがつきやすくなりました。

講師

福島県医科大学 保健科学部 理学療法科 助教
理学療法士 岡崎 可奈子氏



受講生の声

コンチネンスケアの3原則において治療や予防がむずかしい場合、生活に困らないようにマネジメントを行うためには、丁寧な観察と情報収集が大事であることを理解しました。

講師

有限会社きちと 看護師 コンチネンスアドバイザー 佐藤 文恵氏
 神奈川リハビリテーション病院 泌尿器科医師 田中 克幸、作業療法士 一木 愛子



1月2月の研修会予定

高次脳機能障がいセミナー 就労支援編	2024年1月20日(土)	藤沢商工会議所
地域生活を支える支援とは ～上肢・下肢装具の導入に向けて～	1月27日(土)	神奈川リハビリテーション病院
車いすシーティング	2月3日(土)	神奈川リハビリテーション病院

23年度 第2弾 地域連携構築推進事業 in 逗子市役所

「地域生活を続けるための視点と提案」 (全2回)

第1部 2024年1月19日(金) 18:00~19:30

「介護予防、生活期領域におけるフレイル対策」～多職種連携の必要性～

介護保険や障害福祉の軽度者、非該当者などの生活期の介護予防、フレイル対策などについて、講義を行います。

第2部 2024年2月22日(木) 18:00~19:45

「神奈川県リハビリテーション支援センターの利用について」

「実際の相談事例より」 「グループディスカッション」

- ・日常用務のなかでどうやって課題解決している? ・課題解決方法の共有
- ・神奈川県リハビリテーション支援センターへの期待、要望

高齢者の障害、視覚障害、難病、知的障害など当センターへの相談方法や、実際の相談事例についての紹介。また、当センターへの要望や地域内での情報共有など意見交換を通して、お互いの関係性の構築、地域内でのネットワークの再確認の場になることを目的としています。

逗子、葉山地区の方々だけでなく、近隣他市の方も参加可能です。
 当日参加も可能ですが、できるだけ事前にお申し込みを頂けると助かります。
 みなさまのご参加をお待ちしております!!



第47回日本高次脳機能障害学会学術総会

2023年10月28日(土)・29日(日) 仙台国際センター

「第47回日本高次脳機能障害学会学術総会」が開催されました。

テーマ ひろがる つながる 高次脳機能障害

地域リハ支援センター高次脳機能障害支援室からは、

「高次脳機能障害者の介護者不在時の課題について:第2報 ~神奈川県での実践報告~」

として、ポスター発表を行いました。2020年から3年間、親なき後・8050問題・老障介護に取り組んできた結果をまとめたものになります。

本研究の端緒は、両親が急病となり単身生活を余儀なくされた方の支援を通して、介護者不在時への備えが差し迫っているとの認識でした。次いで、家族会(ナナの会)会員にアンケート調査を行い、介護者不在時への備えの必要性を感じていながら、なかなか着手できていない状況が把握できました。そこで、本人の生活状況や制度面等を書面にまとめていただく「パーソナルノート」を作成いただくこと、当事者家族が地域の相談支援事業所とつながるため相談会開催等、支援拠点機関として取り組んできた実践内容の報告が今回のポスター発表となりました。

私たち支援コーディネーターは、日々さまざまな個別相談や地域支援等に対応していますが、個々で起こっている事象(ミクロ)について、地域レベル(メゾ)でもよく見られる課題なのか検討を行い、必要に応じて実態調査や課題解決に向けた仕組みづくりを行う(マクロ)こととなります。

このミクロ・メゾ・マクロを行き来すること、虫の目と鳥の目を持ち合わせることで、このような事業を行うときに大切になると感じて活動をしています。

(瀧澤 学)



4~11月
専門相談
件数

	神経・筋疾患	脊髄障害	脳血管障害	骨関節疾患	後天性脳損傷(除く)	脳性麻痺	知的障害	視覚障害	その他(切断・加齢等)	不明	合計
県央	10(1)	1	5			2	29(13)	4	1		52(14)
湘南東部							1	3	1		5
湘南西部	3	1	2			1		4	1		12
県西	1		3		1		4				9
横須賀・三浦			2				1	6		1	10
横浜市	1		2	1			1	10			15
川崎市								3			3
相模原市			1				2	4	1		8
県外				2							2
合計	15(1)	2	15	3	1	3	38(13)	34	4	1	116(14)

	障害者更生相談所	居宅介護支援事業所	市町村	地域包括支援事業所	本人・家族	障害者相談支援事業所	障害者施設	医療機関	訪問看護事業所	保健福祉事務所	高齢者施設	訪問介護事業所	教育機関	その他	合計
県央	1	3		1	7(1)		32(13)	3	1	2	2				52(14)
湘南東部					2		1	1			1				5
湘南西部		1			5		1			2	2				12
県西						2		1	2	4					9
横須賀・三浦				4	3		1			2					10
横浜市				2	12			1							15
川崎市					1	1		1							3
相模原市			1		5		2								8
県外					2										2
合計	1	4	1	7	37(1)	4	37(13)	7	3	10	5	0	0	0	116(14)

()の数字は訪問件数

今年は冬になってもわりと暖かい日が多く、毎日着る服に迷ってしまいます。でも大掃除には大助かり！いつもの年よりも早く終わりそうです。クリスマスケーキも早々に予約し、年末体制は準備万端です。楽しみ♪体調を崩さぬように、良い年をお迎えください。(S)

〒243-0121 神奈川県厚木市七沢516
神奈川県総合リハビリテーション事業団
地域リハビリテーション支援センター
☎ 046-249-2602
Fax 046-249-2601

編集後記

